

## 事業所における自己評価結果(公表)

放課後等デイサービス

公表： 令和 6年3月30日

事業所名 (株)榎の会 こち

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6	0	0	活動に応じて場所分けをしている。	
	②	職員の配置数は適切である	6	0	0		
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	4	2	0		入り口部分に改善の余地ありのため、検討していく。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6	0	0		
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等	6	0	0		
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6	0	0	ホームページにて掲載している。	
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている業所の会報や	3	3	0		
適切な支援の提供	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6	0	0	適宜行っている。	
	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者の	6	0	0		
	⑩	ニーズや課題を客観的に分析した上で、放	6	0	0		
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準	6	0	0		
	⑫	活動プログラムの立案をチームで行っている	6	0	0	支援会議を行なっている。	
	⑬	活動プログラムが固定化しないよう工夫して	6	0	0		
	⑭	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ	4	2	0		利用状況が変化するため、今後検討していきたい。
	⑮	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサー	6	0	0		
	⑯	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担に	4	2	0		長期休み等、工夫をして行なっていきたい。
	⑰	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、	6	0	0		
	⑱	気 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹	6	0	0	毎日日報を記入している。	
⑲	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサ ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合	6	0	0			
⑲	合	4	2	0			

関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわ	6	0	0		
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	4	2	0		学校によって、難しい部分がある。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整え	0	0	6		医ケア児不在のため、行っていない。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間	2	4	0		日程調整が難しい場合、書面や電話でのやり取りが多くなっている。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を	2	4	0		日程調整が難しい場合、書面や電話でのやり取りが多くなっている。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6	0	0		
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	0	0	6		感染症の影響で難しかった。
	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	6	0	0	毎回参加している。	
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通	6	0	0	送迎時等に伝えている。	
保護者への説明責任等	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニング等の支	4	2	0		
	㉚	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6	0	0	契約時に行なっている。	
	㉛	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行って	6	0	0		
	㉜	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	6	0	0	今後も開催を検討する。	
	㉝	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に	6	0	0		
	㉞	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護	6	0	0	おたよりを発行している。	
	㉟	個人情報に十分注意している	6	0	0		
	㊱	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6	0	0		
	㊲	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	6	0	感染症の影響で難しかった。	今後、検討していきたい。
非常時等の対応	㊳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護	3	3	0		
	㊴	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救	6	0	0	適宜行なっている。	
	㊵	虐待を防止するため、職員の研修機会を確	6	0	0	適宜行なっている。	
	㊶	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護	6	0	0	契約時に説明している。	
	㊷	食物アレルギーのある子どもについて、医師の	0	6	0	食物アレルギー持ちの子が不在。	
	㊸	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共	6	0	0	毎日作成している。	

0

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。